

海外安全対策情報

【2017年4月～6月分】

当地に居住する在留邦人の皆様及び旅行や出張等で当地を訪れる短期滞在者の皆様が、当地で安全にお過ごしいただくため、ご注意頂きたい事件・事故情報などについて、以下のとおり取りまとめましたので、皆様の安全対策の参考にしてください。

1. 治安概況

山東省の治安は比較的良好と言われていますが、各種犯罪は日常的に発生しており、時には凶悪犯罪と呼ばれる類の事件も発生しています。また、飲酒や交通マナーに伴う揉め事が多発傾向にあり、些細なことからケンカとなり傷害事件に発展するケースも報道されています。さらに、最近、電話や携帯メールなどを使用した電信詐欺が社会問題化するなど、中国の詐欺は多様化しており、その手口も巧妙になっています。

2. 防犯対策

当地では過去に、邦人がスリ、置き引きの窃盗被害に遭う事案や、夜間盛り場などでトラブルに巻き込まれる事案が発生しています。このような状況の中、次のような点にご注意し、犯罪に巻き込まれないようにしてください。

- (1) 外出の際は、周囲の状況に注意し、異変を察知した場合はその場を立ち去る。
- (2) 必要以上に目立つ華美な服装や行為、発言等は避ける。
- (3) 深夜の外出や夜間薄暗く人通りの少ない場所での移動を避ける。
- (4) 見知らぬ相手からの安易な誘い・要求には応じない。
- (5) 不特定多数の人が集まる場所では、手荷物や貴重品の管理には細心の注意を払う。

また、今般、外務省は海外安全情報（安全対策基礎データ）の中国関係部分を改訂しました。中国における犯罪発生状況、防犯対策、査証、出入国審査状況、中国滞在時の留意事項及び風俗、習慣、健康等の最新の関連情報を掲載していますので、以下 URL もご参考下さい。

【安全対策基礎データ（中国）（改訂）】

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure.asp?id=009>

3. 事件・事故報道

(1) 殺人（濰坊市、済南市）

ア 5月1日午後4時頃、濰坊市経済開発区で、同郷の男性同士が口論となり刃物で殺害する事案が発生。被疑者は妻を連れ逃亡を図ったところ、2日、臨沂市行き長距離バスを捜索中の警察に検挙された。

海外安全対策情報

イ 5月21日午後7時頃、済南市内（済南工業南路と奥体中路）で、殺人事件が発生。原因は、被疑者（男性）と被害者（女性）が車同士の接触から、もめごとに発展。男性は刃物を取り出し女性を殺害した。通報を受けた警察は現場で男性を検挙した。

（2）強盗（煙台市）

5月3日、煙台市芝罘公安局福安派出所管内の足つぼマッサージ店で、刃物所持の男性客が女性従業員を拘束し、現金1,000元と銀行カードを窃取する事案が発生。通報を受けた警察が現行犯逮捕した。

（3）窃盗・空き巣（青島市）

5月2日正午頃、青島市四方区南寧路所在の自宅に空き巣が入り、現金約5,000元、カメラ、ネックレスを窃取される事案が発生。警察は監視カメラから被疑者2名を検挙。手口は、広告配布を装い不在者宅を見つけ、見張り役を立て、特殊器具を使用し鍵をこじ開けるもの。

（4）窃盗・居空き（莱西市）

6月8日、莱西市濱河路派出所管内で、就寝中を狙った空き巣事件が発生。手口は外壁をよじ登り、トイレの窓をこじ開け侵入するもの。9日、警察は窃盗団（被疑者3名）を検挙した。被疑者らは莱西市で6件のほか、河南省でも複数の侵入盗を敢行しており、被害総額は数十万元にのぼる。

（5）窃盗・出店荒らし（威海市）

6月22日早朝、威海市環翠区のデパート内の貴金属店で、金製貴金属が多数（時価総額265万元）窃取される事案が発生。手口は建物の排気口から屋内に侵入し貴金属カウンターをこじ開けるもの。24日、警察は被疑者を検挙した。

（6）窃盗・職場ねらい（青島市、臨沂市）

ア 近日、青島市公安局城陽分局は、宝石商を営む男性から今年3月以降、貴金属在中の宅配荷物が数度紛失したとの届出を受理。警察は内部犯行の可能性が高いと捜査し、宅配会社従業員3名を窃盗で検挙した。被害総額は45万余元。

イ 5月8日、臨沂市平邑県公安局は、宅配物の窃取で宅配会社従業員1名を検挙した。被疑者は宅配物を配達区域別に分別する機会を狙い、自身の担当区域外の宅配物を窃取していたもの。同宅配業者では3月以降、度々宅配物が紛失する事案が発生しており、警察に通報していた。

（7）窃盗・スリ、ひったくり（青島市）

4月23日午前、青島市市北区鎮江路管内で、女性が路線バスに乗車後、ショルダーバックのファスナーが開けられ、在中の財布が盗まれていることを発見。当時バス内は混み合ってはなかったが、挙動不審な男性2名が近づいて来たとの女性の証言か

海外安全対策情報

ら、警察は監視カメラの映像を解析し、被疑者2名を検挙した。

(8) 窃盗・置き引き（青島市）

5月15日夜、青島市居住の女性が、ATMで家賃を送金しようとしたところ、機器の故障で送金ができず、慌てた女性は現金4,700円を入金口に放置したまま帰宅。後刻、探しに戻ったものの既に持ち去られていた。警察は監視カメラから持ち去った人物を特定。持ち去った人物は、持ち主を探していたと申し立て、同金額を返却した。

(9) 窃盗・車上ねらい（濰坊市）

5月9日、濰坊市奎文区内で、車両を駐車していたところ、車内のノートパソコン、現金等が窃取される事案が発生。15日、高新区内で、車内の財布と衣類在中のリュックが窃取される事案が発生。17日、警察は被疑者を検挙した。被疑者は、車両運転手がリモコンを使いドアロックする際、妨害電波を発信しロックを妨害し犯行を敢行していた。

(10) 窃盗・乗り物盗（青島市）

4月15日、青島市公安局雲南路派出所は、公共自転車（ofo）を窃取したとして未成年3名を検挙した。被疑者3名は、黄色の当該自転車を黒色に塗装し、QRコードや公共自転車を示す文字を消し自己所有したもの。未成年であることから拘留は免除され、1,200円の罰金処分となった。

(11) 詐欺（青島市、平度市、莱西市、煙台市）

ア 4月1日、青島市公安局中韓边防派出所は、出会い系サイト詐欺事件を受理。女性は3月下旬、携帯出会い系サイトで男性と知り合い意気投合。3月31日直接会ったところ、男性から、「急に5,000円必要になった。」と打診を受け、男性への好意から疑うこと無くお金を貸した。さらに男性は、「携帯電話の充電が無くなった。」と相談し、女性は自身の携帯電話を貸し出したところ、男性は持ち逃げ。以降連絡が取れなくなった。通報を受けた警察は被疑者を検挙。

イ 4月4日、平度市居住の女性が商売用資金が必要となり、QQで貸金業務を発見。QQで連絡を取ったところ、相手から、信用確認として、指定する物を購入し指定場所に送付させられる、保証金を要求されるなどし、結果、合計5.7万円を詐取された。平度市公安局は5月4日被疑者2名を検挙。被疑者の供述では、余罪10件余り、被害総額は12万円にのぼる。

ウ 莱西市公安局は4月22日、広州市、廈門市に跨がる広域詐欺組織を摘発し、関係者4名を検挙した。端緒は、莱西市民（被害者）が、インターネットで詐欺組織が関与する証券会社のサイトを発見。同社は、「入会金1,680円と保証金2万円で株の内部情報を教える。」と巧みに被害者を誘惑し、入会金と補償金を詐取。さらに、同社は、35万円分の株の購入を希望する被害者に対し、「内部情報を流すが、事前に資金を確認したい。」と話し、被害者に35万円を振り込ませた後逃亡した。詐欺組織は

海外安全対策情報

同様の手口を2件敢行し、被害総額は100万元以上に及ぶ。

エ 5月19日、煙台市公安局は、哈爾濱から31名の電信詐欺被疑者をチャーター機で移送するなど、広域電信詐欺組織を摘発した。詐欺組織は国外にサーバーを設け、国内で人員を集め国外で電信詐欺を敢行。これまでに事案は199件、被害総額は7,800万元以上におよぶ。

(12) ぼったくり（青島市）

4月30日、中国人旅行客が青島市内の中山公園付近の特産品売場で、石斛（セッコク）を購入しようとしたところ、値段を告げることなく粉末化し、2千元以上を強要し支払わせた。後刻、同店は青島市市南区市場管理局の調査を受け返金、さらに、10万元の罰金処分となった。

(13) 器物損壊（青島市）

4月23日から24日、青島市四方区興徳路74号付近の駐車車両11台のタイヤ（総計21個）が何者かにパンクさせられる被害が発生。現在、警察が捜査中。

(14) 交通死亡事故（威海市）

5月9日午前8時59分、威海市環翠区の陶家疃トンネルで、威海中世韓国国際学校幼稚園の通園車両が事故後に炎上。運転手1名と園児11名（韓国籍5名、中国籍6名）が死亡し、引率教諭1名が重傷である。

(15) 交通トラブル（青島市）

5月2日午後2時30分頃、路線バス（502路）が青島市城陽区の西小水バス停手前で停車中、乗客1名が乗車を求めるも、運転手はバス停から乗車するよう教示し拒否。後刻、同男性は、バス停から同バスに乗車するも、運転手に暴行。通報を受けた警察に検挙された。

(16) 水難事故（済南市）

5月1日、済南市章丘区の景観河と崔寨徐家村の黄河で、それぞれ男児1名が溺れ、救助が試みられるも、景観河の男児は死亡した。

(17) 国家安全に危害を与える罪（容疑）

日本の報道によると、中国関連部門は今年3月、山東省と海南省で日本人男性6名を拘束した。拘留された6名の男性は20歳から70歳で、彼らは国家安全に危害を与えた容疑がある。外交部報道官によると、中国側は確かに日本国民6名に違法行為があった容疑で法に基づき審査しており、日中領事協定に基づき関係領事機関に通報している。

(18) 決闘罪（青島市）

3月26日、対立した2グループ総計21名が、青島市黄島区小珠山水庫管理处前に集結し、事前準備した刃物・棍棒使用による決闘となり、数名が負傷した。決闘理由は、両グループ内の女性がQQを介し意見が対立。この対立がグループ全体を巻き込

海外安全対策情報

むほどに激化し、直接会って話をつけることになったもの。関係者 16 名が刑事処罰となった。

(19) 国民個人情報侵害罪（膠州市、濰坊市）

近日、青島市と膠州市公安局は、省を跨いだ広域個人情報侵害罪に関連した組織を摘発し、被疑者 16 名を検挙した。警察は初期捜査の段階で既に、各種個人情報 220 万件余りを差押えている。同組織は、内モンゴル包頭、吉林長春、遼寧沈陽の個人情報取得のための作業室を設け、銀行カードや身分証の個人情報を入手し、膠州市所在の被疑者が QQ で入手した個人情報を販売していた。

(20) 薬物犯罪（青島市）

ア 6月26日「国際麻薬乱用撲滅デー」を控え、6月2日、青島市公安局は押収禁止薬物約80kgの焼却作業を実施した。なお、同局は4月、青島と武漢の薬物密売ルートを特定。17日、関係者を検挙し、禁止薬物12袋（12kg）を押収している。

イ 6月14日、青島市市北区人民法院は、足つぼマッサージ店で覚醒剤を販売し逮捕起訴された被告人6名に対し、それぞれ懲役1年5月から15年、罰金3千元から10万元の罰金に処した。事案は、被告人らは四川省重慶市で覚醒剤を購入し、青島市市北区浮山後で経営する足つぼマッサージ店で顧客に販売したものの。

ウ 6月26日の「国際麻薬乱用撲滅デー」に合わせ、青島市公安局禁毒部門は、管内で発見・拘束した日本と韓国が指名手配する薬物事犯逃亡者を、強制退去処分とし両国警察に引き渡した。

4. 治安対策等報道

(1) 国民個人情報侵害罪の取締り状況（山東省）

山東省公安厅によると、昨年、同庁は侵犯公民个人信息犯罪（国民個人情報侵害犯罪）の取締りを強化。刑事案件326件、被疑者650名を検挙し、ネット上の違法取引情報約5万件を整理した。

(2) 覚醒剤犯罪情勢（山東省、青島市）

ア 6月26日、山東省高級人民法院は、5件の薬物事案について公表した。この内3件は宅配を利用して取引するもので、この3年で山東省全法院が処理した薬物運搬事案の内、宅配を利用するものは562件に達している。省法院関係者によると、近年、空港や鉄道は安全検査が強化されており、犯罪分子が宅配を利用するケースが急増しているとのこと。

イ 6月26日の「国際麻薬乱用撲滅デー」において、青島市禁毒委員会、青島市公安局などは五四広場で薬物禁止の大型宣伝活動を展開した。現在、青島市で登録されている薬物使用者は約3万人である。この内、18歳から35歳が65%を占め、新型合

海外安全対策情報

成麻薬が95%以上を占める。今年に入り、青島市が摘発・検挙した薬物事犯は500件余り、逮捕・起訴された薬物事犯被疑者は500名余り、押収した各種薬物は60kg余り、新たに登録した薬物使用者は900名余りと、薬物蔓延が懸念される状況にある。

ウ 青島市人民検察院の発表によると、2013年から2016年の4年間で、検察院が逮捕した未成年薬物事犯は33件58名、不逮捕が15件19名、起訴が80件94名、条件付不起訴が2件3名である。全体的に青島市の未成年による薬物事犯数は上昇傾向にある。

(3) 電信詐欺の発生状況（青島市）

昨年9月9日、青島市公安局電信詐欺センター設立から現在まで、同センターへの通報件数は5,826件で一日平均26件にのぼる。また、通報の17.7%を中高生が占めており、現在、学校がネット詐欺の罹災地区となっている点が問題化している。

(4) 飲酒運転の発生状況（青島市）

2011年5月1日、酔駕入刑（酒酔いしたら即、刑事罰）が施行されて6年が経過し、現在まで、54,675名が検挙された。（酒気帯び運転が4,919名で全体の9%、酒酔い運転が49,756名で全体の91%を占める）。過去3年を見ると、酒気帯び運転は、2014年6,482件、2015年8,020件、2016年13,518件、酒酔い運転は2014年528件、2015年684件、2016年1,751件。2017年は既に酒気帯び運転は6,640件、酒酔い運転は1,080件に達しており、増加の一途をたどっている。

(5) 歩行者による信号無視取締りの強化（済南市）

5月3日、済南市交警部門は、歩行者、自転車による信号無視の取締りを強化するため、違反者自動識別システムを開発した。同システムは、主要交差点に違反歩行者等専用監視カメラを設置し、違反者の顔写真を撮影し、同顔写真データを公安庁所有のデータと比較することで違反人物を特定するもの。外地人もその対象となる。

(6) フードデリバリー車両対策（青島市）

4月21日、青島市公安局李滄分局交警部門と餓了么集団は、李滄文化公園広場で、運転モラル向上と安全運転に関する出陣式を行った。当地ではフードデリバリーサービスが普及する中、運搬車両（自動二輪）の交通マナー欠如が問題化している。この度、問題解消に向け、当地の餓了么集団の運搬車両1,400台について、「車種と服装の統一」「保険加入の強制」「運転手情報の当局への提供」などを行い、運転モラルの向上と安全運転の徹底を図るもの。市民は違法車両を発見した場合は、車両に掲載されたQRコードをスキャンし通報するシステムも構築されている。

（了）